

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月21日		(木)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
	発生場所	土捨て場						2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1	ゴム類	C	01	D	A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	難燃物その他	C	04	D	A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1037
				2017/12/19
調整後保管日時		2017年12月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/21 9:30	2 m ²			1
	2	1	難燃物その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/21 9:30	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1038
				2017/12/19
調整後保管日時		2017年12月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 × <td>保管希望日時</td> <td colspan="2">2017年12月21日</td> <td>(木)</td> <td colspan="2">9:30</td> <td>承認</td> <td>審査</td> <td>作成</td>	保管希望日時	2017年12月21日		(木)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
	発生場所	土捨て場						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73		
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
			①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	50 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	15 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3	機器類・制御盤類	B	03	D	A	2 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
4	塩化ビニール類	B	05	D	A	1 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
5	不燃物その他	B	10	D	A	6 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h	
× <td>モ</td> <td colspan="10">注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。</td>	モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2017年12月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-105
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 × <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">枝 番</th> <th rowspan="2">保 管 物 名</th> <th rowspan="2">測定場所 雰囲気線量率</th> <th rowspan="2">表面線量率</th> <th rowspan="2">β + γ 線量率</th> <th rowspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">保管日時</th> <th rowspan="2">物 量</th> <th rowspan="2">再利用/ 減容可否</th> <th rowspan="2">コンテナNo.</th> <th rowspan="2">測定No.</th>	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	金属ガラ⑦	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2017/12/21 10:15	3 m ³			1
1	2	金属ガラ⑧	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2017/12/21 10:40	4 m ³			1
1	3	金属ガラ⑨	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2017/12/21 11:45	6 m ³			1
2	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2017/12/21 9:30	2 m ³			1
3	1	機器類・制御盤類⑧	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2017/12/21 9:45	2 m ³			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
× <td>モ</td> <td colspan="11"></td>	モ											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6					m ³							
	7					m ³							
	8					m ³							
	9					m ³							
	10					m ³							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2017	—	12	—	1038

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥			⑦	⑧			
	5	1	不燃物その他	4	μ Sv/h	16	μ Sv/h	16	μ Sv/h	エリアX	2017/12/21 9:50	6	m ³		ZK-00714	2
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物		01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	C 難燃物		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月21日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託										
	発生場所	南防波堤周辺						2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20		
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/15		測定者			測定器名	ICWBH		管理番号	ICWBH-025	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	A	8 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
※発砲スチロールなど												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2017	—	12	—	1039
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアO	2017/12/21 11:00	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1040
調整後保管日時				2017/12/20
2017年12月21日				10:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月21日		(木)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
	発生場所	1・2号機建屋周辺						2017/12/20	2017/12/20	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	ICWBH	管理番号	ICWBH-025		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
3	木材類	A	03	D	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	可燃物その他	A	04	D	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
5						m ²				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。